

商法中改正法律案 外三 特別委員會議事速記錄第七號

明治四十四年二月十三日(月曜日)午後一時二十一分開會

○委員長(男爵波多野敬直君) 是ヨリ開會イタシマス、岡野君カ富井君カ小委員會ノ經過結果ヲドウ御報告ヲ願ヒマス

○岡野敬次郎君 一應、委員長カラ大體ヲ御報告ニナリマシテ……質問デモアリマシタラ申上ケルコトニ致シマシタラ如何デアリマセウカ

○委員長(男爵波多野敬直君) 小委員會ハ此間、設ケラレマシタ以來、直チニ調査ニカ、リマシタ、多少修正ヲ致シマシタ、是ハ御報告スルト云フコトデアリマス、其修正ノ簡條ハ岡野君カ富井君カラ御報告ニナルダウト考ヘマス

(參照)

(小委員會修正案)

〔修正ニ係ル部分ノミヲ載録ス
小字ハ小委員會ノ修正、ハ同削除ノ符號〕

第四百二十二條ノ二 發起人カ會社ノ設立ニ關シ其任務ヲ怠リタルトキハ○會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス

發起人ハ
社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス
發起人ニ惡意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ其發起人ハ第三者ニ對シテモ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス

第四百十八條中「署名スルコト」ヲ「署名シ又ハ記名、捺印スルコト」ニ改ム

第四百十七條 取締役カ其任務ヲ怠リタルトキハ○會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス

取締役カ法令又ハ定款ニ反スル行為ヲ爲シタルトキハ株主總會ノ決議ニ依リタル場合ト雖モ○其取締役ハ
○其取締役ハ
○其取締役ハ

第九十條ノ二 財產目錄ニ掲クル動產、不動產、債權其他ノ財產ノ價額ハ取引所ノ相場アル財產ニ付テハ財產目錄調製ノ時ニ於ケル相場ニ、其他ノ財產ニ付テハ財產目錄調製ノ時ニ於ケル價額ニ超ユルトキハ其取得價額又ハ製作價額ニ超ユルトコトヲ得ス

繼續シテ營業ノ用ニ供スル財產ニ付テハ前項ノ規定ニ拘ハラズ其取得價額又ハ製作價額ヨリ相當ノ減損額ヲ控除シタル價額ヲ附スルコトヲ得

第九十條ノ二 繼續シテ會社ノ營業ノ用ニ供スル財產ノ目錄ニ記載スルニハ其取得價額又ハ製作價額ヨリ相當ノ減損額ヲ控除シタル價額ヲ附スルコトヲ得

第九十四條第一項ヲ左ノ如ク改ム
會社ハ損失ヲ填補スル爲メ其資本ノ四分ノ一ニ達スルマテ準備金トシテ利益ノ二十分ノ一以上ヲ積立ツルコトヲ要ス
第九十四條ノ二 第二十六條第二項ノ規定ニ依リテ會社ノ財產ニ附スル價額カ取得價額又ハ製作

貴族院商法中改正法律案外三件特別委員會議事速記錄第七號

明治四十四年二月十三日

五一

價額ニ超ユルトキハ其差額ハ利益トシテ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第九十五條 會社カ前二條ノ規定ニ違反シテ配當ヲ爲シタルトキハ會社ノ債權者ハ之ヲ返還セシムルコトヲ得

第二百五條 債券ハ社債全額ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ發行スルコトヲ得ス

債券ニハ會社ノ商號及ヒ第七十三條第二號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ記載シ取締役之ニ署名シ又ハ記名、捺印スルコトヲ要ス

第二百六十一條 取締役、株式合資會社ノ業務ヲ執行スル社員、監査役又ハ株式會社若クハ株式合資會社ノ清算人若クハ支配人カ其任務ニ背キタ

コトヲ知リテ
ル行為ヲ爲シ會社ノ財產上ノ損害ヲ加ヘタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ

五千圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三百三十二條中「署名スルコト」ヲ「署名シ又ハ記名、捺印スルコト」ニ改ム

第三百八十三條ノ二 倉庫營業者ハ寄託者ノ請求アルトキハ預證券及ヒ質入證券ニ代ヘテ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

倉荷證券ニハ預證券ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百九十九條ノ二 保險契約ノ當時保險契約者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但保險者カ其事實ヲ知り又ハ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキハ此限ニ在ラス

前項ノ解除權ハ保險者カ解除ノ原因ヲ知リタル時ヨリ一个月間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス契約ノ時ヨリ五年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第四百二十九條 保險契約ノ當時保險契約者又ハ被保險者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但保險者カ其事實ヲ知リ又ハ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキハ此限ニ在ラス

過失ニ因リテ之ヲ知ラザリシトキ
過失ニ因リテ之ヲ知ラザリシトキ
過失ニ因リテ之ヲ知ラザリシトキ

第三百九十九條ノ二 第二項及ヒ第三百九十九條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十九條ノ二 振出人ハ爲替手形ニ受取人ノ氏名又ハ商號ト共ニ其爲替手形ノ所持人カ支拂ヲ受クルコトヲ得ヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

前項ノ爲替手形ハ之ヲ無記名式ノモノト看做ス
同一ノ效力ヲ有ス

第四百四十九條ノ三 第四百四十九條ノ規定ハ前條第一項ニ定メタル爲替手形ニ之ヲ準用ス

第五百三十三條中「一週間ヲ十日ニ改ム」

第五百三十三條ノ二 小切手ノ振出人ハ呈示期間經過前ニハ支拂ノ委託ヲ取消スコトヲ得ス

支拂人ハ呈示期間經過ノ後ト雖モ小切手ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

第五百三十三條ノ三 小切手ノ所持人カ支拂人ノ加入シタル手形交換所ニ小切手ヲ提出シタルトキ

ハ支拂地ニ於テ支拂ヲ求ムル爲メ之ヲ呈示シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第五百三十四條 削除

第五百三十四條中、前條第一項ニ定メタル期間「呈示期間」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

手形交換所ニ於テ呈示期間内ニ小切手ヲ提出シ及ビ支拂拒絶アリタル旨ヲ證明シタルトキ亦同シ

第五百三十四條ノ二 前二條ノ手形交換所ハ司法大臣之ヲ指定ス

第六百二十二條中、又ハ所持人ニ運送品ヲ引渡スヘキコトヲ削リ

附則

第十五條 本法施行前ノ最終ノ財産目録ニ掲ケタル財産ニ附シタル價額ハ

第百九十九條ノ二ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ其取得價額又ハ製作價額ト

看做ス但取得價額又ハ製作價額カ其價額ニ超ユルトキハ此限ニ在ラス

第三十六條 附則第三十三條及ヒ第三十四條ノ規定ハ小切手ニ之ヲ準用ス

第三十六條 第五百三十三條ノ三及ヒ第五百三十四條第二項ノ規定ハ本法施行前ニ振出シタル小切

手ニ付キ所持人カ本法施行後ニ支拂ヲ求ムル爲メ之ヲ呈示スル場合ニモ亦之ヲ適用ス

附則第三十三條及ヒ第三十四條ノ規定ハ小切手ニ之ヲ準用ス

第三十九條 明治三十二年法律第十七號ハ之ヲ廢止ス

○岡野敬次郎君 唯今、委員長カラ御報告ニナリマシタ通り、小委員會ニ於キマシテ

ハ商法ノ修正案ニ對スル種々ナル修正ノ希望、商業會議所、手形交換所等カラ提出ニ

相成ッテ居リマス修正ノ希望書ヲ一々參考イタシマシテ、其希望書中ニ述ベテアリマスル

所ノ意見ノ、採ルベキモノト採ルベカラザルモノトニ付キマシテ一々審議ヲ經マシタノデ、其

結果、採ルベキモノト議決イタシマシタル所ノモノガ、多分御手許ニ配付ニナッテ居リマ

セウト思ヒマス、筆榻版ノ印刷物ガ即チツレアルノデアリマス、尤モ小委員會ニ於キ

マシテハ、其意見ノ趣旨ノ採ルベキモノヲ議決イタシマシテ、サウシテ其法文ノ形ニ付キマ

シテハ更ニ又委員ヲ設ケラレマシテ、其委員ニ委託ニナッテデアリマス、其小委員會中ノ委

員ハ一應ノ會議ヲ開キマシテ、修正ノ趣旨ニ從ッテ法文ヲ起草イタシマシテ之ヲ小特別

委員會ニ提出イタシマシタ、小特別委員會ニ於キマシテハ、其法文ヲ一ノ修正ナクシテ滿

場一致テ可決ニ相成ッテ次第デアリマス、ツレテ私ヨリ御報告ヲ申上ゲルコトハ詰リ此配

付ニナッテ居リマス筆榻版ノ各條ニ付イテ申シマスレバ是其要ヲ盡シタモノト考ヘルノデア

リマス、先ツ百四十二條ノ二、百四十二條ノ二ノ修正ガ修正原案ニ付キマシテ任務ヲ

怠リタル發起人ト、任務ヲ怠ラザル發起人モ皆共ニ連帶シテ賠償ノ責任ズルト云フガ

如クニ誤解セラレ、眞ガアル、ツレテ任務ヲ怠ラザル發起人ガ其責任ヲ負擔スルノハ道

理ニ合ハヌノデアラカラ、其懈怠不注意ノ責アル發起人ダケ責任ヲ負擔スルト云フ意味ヲ

明カニシテ貫ヒタイト云フ希望ガアツタ、原案ノ趣旨ハ固ヨリ任務ヲ怠ラザル發起人ニ責

任ヲ負ハセル趣意デハナイ、即チ修正ノ希望通リノ趣意デアリマスケレドモ、茲ニ「其發
起人ハ」ト云フ文字ヲ加ヘマシタナラバ、益々其意味ガ明瞭ニナルデアラウ、又法文トシテ
モ或ハ「其發起人ハ」ト云フ文字ヲ挿入シタノガ適當デアラウト云フノデ、斯ノ如ク修正
ヲ致シタノデアリマス、ツレカラ次ニ第四百四十八條ノ修正デアリマスガ、是ハ委員諸君ハ
御承知ノ如ク商法ハ原則トシテ署名即チ自署ノ主義ヲ採ッテ記名捺印テ差支ナイモノ
ハ各々其意味ヲ法文ニ現ハシテ、曩ニ現在行ハレテ居リマス所ノ三十二年法律第十
七號ハ廢止スルト云フ趣意デ立案サレタノデアリマス、然ルトコロ實際ニ於キマシテハ自署
ト云フコトハ事實行ハレヌ、又此點ニ付イテハ最モ力ヲ盡シテ修正ノ希望モ到ル處カラ提
出サレテ居ルヤウナ次第デアリマス、事實ノ話ヲ聽イテモ保險證券其他商法ノ規定ニ據
テ發行スルモノ自署スルト云フコトハ實行上甚ダ困難デアルト云フコトヲ認メマシテ、ツレテ
原則……原則デアリマス、即チ特別法タル三十二年法律第十七號ヲ廢止スルト
云フ修正ノ簡條ヲ削除イタシマシテ即チ現行法ノ通り復活イタシタ次第デアリマス、現
行法ノ通りニナリマスレバ、此署名問題ニ付キマシテハ總テ此商法修正案ノ採リマシタ
所ノ主義ヲ全ク棄テテ譯ニナルノデアリマスカラ、ツレテ詰リ百四十八條ト云フモノハ全
部削除スルコトニ致シタノデアリマス、ツレテ牽聯イタシタ他ノ簡條モ矢張り同様ノモノデ
アリマスカラ、其時ニ至ッテ其餘法文ヲ申上ゲマスケレドモ、趣旨ハ則チ一ツデアルノデアリマ
ス、ツレカラ次ニ第四百七十七條ノ規定デアリマスガ、此規定ハ丁度百四十二條ノ二下同
様ナ趣旨デアリマシテ、同様ノ趣旨ヲ採用スル以上ハ矢張り「其取締役ハ」ト云フ文意
ヲ一項二項共ニ加ヘルガ適當ナリト認メテ斯ノ如ク修正ラシタノデアリマス、次ニ百九十
條ノ二デアリマス、百九十條ノ二ニ付キマシテハ、色々ノ議論モ出ルシ、又此條ニ對スル
論モ修正ノ希望若クハ削除ノ希望モアルノデアリマシテ、小委員會ニ於キマシテハ、特ニ
此簡條ニ重キヲ置イテ十分ノ審議ヲ盡シタノデアリマス、原案ノ百九十條ノ二ノ趣旨ハ
申上ゲルマデモナク、俗ニ蟬配當ト稱スルモノヲ禁ズル趣旨デアリマス、會社ノ財産ニ屬ス
ルモノハ取得價額ト現在ノ時價ト比較イタシマシテ、若シモ時價ハ大層高クナッテ居ル
ゲレドモ、其財産ヲ取得シタル當時ノ價格ガ廉クアツタナラバ其廉イ方ノ價格ヲ財産目
録ニ掲載セヨト云フノガ百九十條ノ二ノ趣旨デアルノデアリマス、唯此條文ノ適用ヲ見
マスルノハ、要スルニ此會社ガ尙ホ占有シテ居ル所ノ財産ニ付イテ現在ノ價格ハ取得
價格ヨリモ著シク騰貴シテ居リマシテモ亦其財産ノ價格ハイツ何時下落スルカモ分ラヌノ
アル、會社ガ其財産ヲ握ッテ居ル間ハ相場ノ高低ニ從ッテ價格モ亦或ハ上ガリ或ハ下ガ
ルト云フコトニナルノデアリマスカラ、其財産ヲ讓渡シテ金錢ヲ以テ實際其差額ダケヲ利
シタルトキハ之ヲ營業上ノ……純然タル營業上ノ利益ト同様ノ利益トシテ處分スルコト
ヲ得ルノデアリマスルケレドモ、未ダ金錢ニ換ヘナイ間ハ現在ノ時價ハ高クアツテモ、イツ何
時下落スルカモ分ラヌ、又其低落ノ危險アルコトヲ認メネバナラヌノデアリマスカラ、ツレテ
實際ニ收メザル利益ト云フモノヲ配當ニ充テルトカ、其他利益トシテ處分スルコトハ是ハ
禁ズルガ適當デアルト云フ趣旨デ此法文ハ置カレタノデアリマス、而シテ其適用ハ全ク利
益ノ配當ニ關スルノミデアリマシテ、他ノ商法ノ規定ノ適用ニ於キマシテモ、又破産法等
ノ適用ニ於キマシテモ、決シテ此百九十條ノ二ノ規定ニ依ッテ見積ッタ所ノ低イ價格
ガ標準トナルノデアリマス、サリナガラ斯ノ如ク財産ノ低イ價額ニ見積ルトキハ其
財産目録ニ舉ゲタ所ノ財産ノ總額ト云フモノハ會社財産ノ眞實ノ價額ニ場合ニ依ッテ
ハ遠ザカルコトガ甚シクアツテ、財産目録ハ會社財産ノ實況ト符合シナイノデアアル、シカ
モ現ニ會社ノ所有スル所ノ財産ガ高イ相場ヲ有ッテ居ルニモ拘ラヌ、此法文ニ依ッテ法

律上低い價格ニ見積ラナラヌト云フコトヲ命ジテ置クト、現實ハ頗ル財産が多キニモ拘ラス財産目録貸借對照表ノ上ニ於テハ損失ヲ示サネバナラヌ結果ニナルデアリマス、非常ニ信用ノ有ル會社ニシテモ其所有財産ノ價格ガ騰ツタニ拘ラズ財産目録ノ上ニ損失ヲ示サネバナラヌト云フコトハ其會社ノ信用ヲ傷ケル所以デアラウ、謂ハユル蟬配當ヲ禁ズルト云フ趣旨ハ大體ニ於テ差支ナイケレドモ、併ナガラ會社ノ信用ヲ傷ケルガ如キ財産目録ヲ法律ニ據テ強制セラル、ト云フコトハ、是ハ會社ニ取テ甚ダ不利ト言ハネバナラヌト云フ議論ガアリマシテ、大體ニ於テキマシテハ其論旨ヲ採用スルコトニナツタデアリマシテ、ソレデ此百九十四條ノ二ノ第一項ヲ改メマシテ之ニ代ルベキモノヲ第百九十四條ノ二トシテ置イタルデアリマス、第百九十四條ノ二ハ此法文ニ示シテアリマス通りノ原則ニ從テ、即チ第二十六條ノ第二項ノ規定ニ依リマシテ、會社ノ財産ニハ時價マデハ騰ツタ價格ヲ付シテモ宜イデアル、併ナガラ其財産ノ取得價格、製作價格ト比較シテ時價ノ方が高イトキハ其差額ダケハ會社ガ自由ニ處分スルコトヲ得ベキモノトシテハナラヌ、即チ貸借對照表、損益計算ノ上ニ於テハ、時價ノ騰ツタダケ、即チ利益トシテ現ハレル計算ニハナリマスケレドモ、其差額ニ相當スルダケノ金額ハ之ヲ會社ニ於テ自由處分ヲ許サヌ、一種ノ積立金トシテ之ヲ保存シテ置クガ宜シイ、斯ウ云フ趣旨ニ改メタルデアリマス、即チ若シモ時價相當ノ所ニ會社財産ヲ見積レバ其財産目録ハ稍々會社財産ノ實額ニ等シキモノトナルデアリマス、又百九十四條ノ二ノ一項ニ對スル一ツノ反對論、信用アル會社ト雖モ又事實財産ヲ澤山有テ居ル會社ト雖モ損失ヲ掲ゲネバナラヌト云フコトハ、非難ヲ免レルコトニナルデアリマス、先刻申上ゲマシタ趣旨ニ依リマシテ、即チ百九十四條ノ二ノ一項ニ代ルモノトシテ第百九十四條ノ二ヲ設ケタルデアリマス、此條文ノ位置ニ付キマシテハ序デナガラ申上ゲテ置キマスケレドモ、此百九十四條ノ株式會社ノ計算ニ關スル書類ガ茲ニ掲ゲタルデアリマス、其中ニ詰マリ財産目録、貸借對照表ト云フモノガアリマスカラ、若シモ價格ニ關スル規定ガ財産目録、貸借對照表ニ關スル規定ト致シマシタナラバ、即チ原案ノ如キモノデアリマシタナラバ、第百九十四條ノ二即チ百九十四條ノ二ノ規定ガ適當ナルデアリマスケレドモ、唯價額ニ付イテハ二十六條ノ規定ニ依ルベキモノトシテ、其利益トシテ現ハレタモノ、處分ヲ自由ニ任セナイト云フ趣旨デアラナラバ、百九十四條ノ二次ガ、法文トシテハ適當ナ場所デアラウ、斯ウ云フコトカラ百九十四條ノ二ト致シマシテ、此條文ヲ設ケタ譯デアリマス、ソレカラ原案ノ百九十四條ノ二ノ二項デアリマス、「繼續シテ營業ノ用ニ供スル財産ニ付テハ」云々トアリマス、此條ノ趣旨ハ存シテ、即チ百九十四條ノ二ガ之ニ當タルデアリマス、ソレデ百九十四條ノ二ト云フモノニ「會社」ト云フ文字ヲ入レマシタノハ、百九十四條ノ二ノ二項ト致シマシテハ、其文字ガ無クテモ差支ナイデアリマスケレドモ、此條文ダケヲ茲ニ現ハスコトニナリマス、「會社」ト云フ文字ヲ入レタ方が宜カラウト云フコト、此文字ハ插入イタスコトニナツタデアリマス、ソレカラ他ニ「前項ノ規定ニ拘ハラス」ト云フヤウナ文字ヲ削リマシタノハ別段其趣旨ニ於テハ變リハナイデアリマシテ、唯前項ノ規定ガ最早無クナツタデアリマスカラ、ソレデ斯ノ如クニ改メタ、其他文字ノ修正ハ唯斯ノ如キ文章ノ方が、能ク意味ヲ現ハスデアラウト云フニ過ギナイデアリマス、ソレカラ百九十四條ノ第一項ヲ改メマシタノハ、是ハ改正案ノ中ニハ無イ所ノモノデアリマス、ソレカラ百九十五條ト云フ

モノモ改正案ニハ無イデアリマス、之ヲ改メマシタノハ、先刻申上ゲマシタ百九十四條ノ二ト云フモノヲ茲ニ入レマシテ、更ニ此現行法ノ百九十五條ト比較ヲ致シテ見マスルト云フト、百九十五條ノ二項ハ、矢張り此百九十四條ノ二ニ違反シタ場合ニモ適用ヲセネバナラヌ必要ガ有ルデアリマス、ソレデ現在百九十五條ノ二項トナツテ居ル所ノモノヲ獨立ノ法文ト致シマシテ、百九十四條ノ二ノ場合ニモ適用スルト云フコトヲ明ニ致シマシタノデ、ソレガ爲ニ百九十五條ト云フモノガ新ニ出來タ譯デアリマス、ソレカラ現行法ノ百九十四條ト百九十五條ト云フモノヲ能ク見マスルト云フト、元來此法文ハ甚ダ宜シクナカッタデアリマス、趣旨ニ於テハ今日ト雖モ誤解ヲサレテ居ルコトハ無イヤウデアリマス、併ナガラ法文ト致シマシテハ、甚ダ不完全不備ナモノデアアルデアリマス、固ヨリ獨立シテ此條文ヲ修正セネバナラヌト云フ實際上ノ必要ハ無イデアリマスケレドモ、偶々百九十四條ノ二ヲ置キマシテ、サウシテ百九十五條ノ二ノ二項ノ規定モ其場合ニ適用スルト云フコトニナツタ以上、又百九十四條ノ二三「利益トシテ之ヲ處分スルコトヲ得ス」ト云フ文字ヲ用井、而シテ百九十五條ノ第一項ニ「利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フヤウナ文字ヲ用井テ居ルカラ、文字上ノ不權衡カラ是亦却テ誤解ヲ招クノ虞アリト致シマシテ、即チ百九十四條ト百九十五條トノ二箇條ニ互ツテ、法文ノ趣意ヲ明ニシ、且ツ誤解ヲ防グト云フ趣旨ヨリ、修正ガソコニ及ンダ譯デアリマス、ソレガ爲ニ百九十四條ノ第一項ト云フモノガ修正セラレタルデアリマス、サウシテ百九十五條ノ規定ト云フモノハ、先刻申上ゲマシタ通りニ、現行法ノ百九十五條ノ第二項デアッテ、而シテ唯百九十四條ノ二ノ場合ニモ之ヲ適用スル意味ニ之ヲ致シマシタルデアリマス、趣旨ニ於キマシテハ、現行法ト少シモ變ラナイデアリマス、ソレカラ二百五條デアリマス、二百五條ハ彼ノ署名問題ノ一ツデアリマシテ、是ハ先刻申上ゲマシタ通りノコトデアリマスカラ、重ネテ述ベマセヌ、ソレカラ次ハ二百六十一條ノ罰則デアリマス、是ハ後ニ富井先生ニ御説明ヲ御願ヒスルコト、致シマシテ、私ハ之ヲ略スルコトニ願ヒタイデアリマス、次ハ三百三十二條、是ハ矢張り署名問題デアリマスカラ、別ニ申上ゲマセヌ、次ハ三百三十三條ノ二デアリマス、是ハ法文ノ形ニ於キマシテハ、極メテ簡單デアリマスケレドモ、修正ノ趣旨ハ頗ル大ナルモノデアリマス、申上ゲルマデモナク、現行商法ハ倉荷證券ニ付イテハ二枚ノ證券ヲ發行スルト云フ制度ヲ採ッテ居ルデアリマス、ソレニ對シテ此一枚證券ヲ以テ二枚ノ證券ニ代ヘテ貰イタイト云フ希望モ有ルデアリマス、又二枚證券ト併用シテ一枚證券ヲモ用井ルコトニシテ貰ヒタイト云フ希望モ有ルデアリマス、其理由ト致シマシテハ、定メシ委員諸君ノ御手許ニモ配付ニナツテ居リマセウト存ジマス、一枚證券ト云フモノハ、今日ノ實際ニ行ハレテ居ラヌデアアル、故ニ事實行ハレザルニ、證券ヲ發行スレバ必ズ二枚ニ限ルト云フコトハ、無用ノ勞ヲ要シ無用ノ費用ヲ要スル譯デアラカラ、ソレデ一枚證券ト云フコトニシテ貰ヒタイト云フ趣旨デアリマス、實際營業者ノ希望ト致シマシテハ、必ズ二枚證券ニ代ヘテ一枚證券ニシテ貰ヒタイト云フデアナイヤウデアリマス、又現ニ事實ニ於テ、僅カナガモ或ル地方ニハ二枚證券ガ行ハレテ居ルデアリマスカラ、營業者ノ希望ヲ容レテ、即チ倉荷證券ノ制度ガ實際ニ適合スルニハ、現行法ノ二枚證券ニ加ヘテ、一枚證券ノ主義ヲ採用シタナラバ、其希望ニ副フデアラウ、又其事ニ於テハ決シテ誤リナイト認メタルデアリマス、ソコデ二百八十三條ノ二ト云

フモノヲ設ケテ預證券、質入證券又ハ倉荷證券ヲ發行スルコトが出来ル、其倉荷證券ニハ丁度一枚發行イタシマスル場合ニ於ケル預證券ニ關スル規定ヲ準用スルコト云フコトニ致スノデアリマス、預證券ト云フモノハ所有權ノ移轉スルノ用ニ供スルデアリマス、質入證券ハ質權ヲ設定シテ其質權ノ移轉ノ用ニ供スルデアリマス、一枚別々ノ働キヲナスコトニテ居ルデアリマス、併ナガラ倉荷證券ト云フ一枚ノ證券ヲ發行イタシマシタナラバ、其一枚證券ハ或ハ所有權ノ移轉ノ用ニ供シ或ハ質權ノ設定ニ供セラルル働キヲ爲スノデアリマス、唯法文ノ適用セラルルモノガ預證券ニ關スル規定ニ止ルノデ、或ハ所有權ノ移轉ニ供シ或ハ質權ノ設定ニ供スルコトヲ得ルコトハ彼ノ貨物引換證ヤ其他商法ノ規定ニ依テ發行セラルル證券ト異ラヌデアリマス、即チ二百八十三條ノ二ハ一枚證券制度ヲ併用スルコト云フ主義ヲ諳マリ採用シタモノト御承知クダサレバ誤リナインデアリマス、ソレカラ二百九十九條ノ二デアリマス、此但書ニ「保險者カ其事ヲ知リ又ハ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキハ此限ニ在ラス」トアリマス、此「之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキ」ト云フコトハ偶々實際ニ於テハ色々誤解ヲ來タシタ傾キモアルヤウデゴザイマス、又保險業ニ從事スル者ノ團體カラ致シテ、如何ニモ知ルコトが出来得ベカリシナラバト云フコトニ解釋ヲサレテハ甚ダ事實爭ヒヲ招クヤウナモノデアッデ、且ツ從來隨分ノ之ヲ廣ク解釋セラレテ居ルノデ、恐ラクハ法文ノ趣意デナイカモ知ラヌガ、併ナガラ若シ然ラズトセバ其意味ヲ明ニスルガ適當デアルト云フ意見ガアルデアリマシテ、其意見ヲ採用イタシマシテ、即チ「過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキ」ト改メタルデアリマス、ソレカラ四百二十九條、是モ三百九十九條ノ二同様ノ事デアリマスカラ重ネテ申上ケルコトハ略シマス、ソレカラ四百四十九條ノ二デアリマス、是ハ此改正ノ點デケラ見マスト云フト「前項ノ爲替手形ハ之ヲ無記名式ノモノト看做ス」トアリマス、前項ノ爲替手形ハ無記名式ノモノト同一效力ヲ有ス」ト改メタルデアリマス、或ハ何ノ爲ニ改メタラウト云フ御疑ガ起ラヌトモ限リマセヌデアリマス、一應其來歴ヲ申上ケテ置キタイと思フデアリマス、元來此四百四十九條ノ二ニ於キマシテ「前項ノ爲替手形ハ之ヲ無記名式ノモノト看做ス」ト云フ一項ヲ設ケマシタノハ甲又ハ持參人ト云フ形式ヲ以テ發行イタシマスル爲替手形ハ學說上ノ說明ハ暫ク別問題ト致シマシテ無記名式ト同ジモノデアアル、其無記名式ノモノト同ジモノデアルト云フコトハ其振出しノ時カラ、ソレカラ移轉ノ時カラ、其爲替手形ヲ利用スルコト云フ點カラ總テ此無記名式ニ關スル所ノ民法商法ノ規定ニ從フコト云フ趣意デアッタデアリマス、從ッデ現行法ノ四百四十九條ニ爲替手形ハ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得」ト云フ規定ガアリマスルガ、此規定モ矢張り其甲又ハ持參人ト云フ形式ノ爲替手形ニモ適用セラルルト云フ趣意ヲ含ンデ居タルデアリマス、即チ甲又ハ持參人ト云フ形デ爲替手形ヲ發行スルコトハ等シク金額ハ三十圓以上ノモノナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナルデアリマス、詰マル所之ヲ牽聯イタシテ現行法ノ三百二十三條ニ貨物引換證ニハ荷送人ノ氏名又ハ商號ヲ記載セヨト云フコトヲ規定シテアルデアリマス、而シテ又六百二十二條ニ船荷證券ニモ荷受人ノ氏名又ハ商號ヲ記載セシト云フコトガアル、併ナガラ此船荷證券ハ謂ハユル無記名式デ發行シテモ差支ナイト云フ意味ヲ現ハスガ爲ニ「又ハ所持人ニ運送品ヲ引渡スヘキコト」ト云フコトガアルデアリマス、ソコデ先ヅ其現在實際ニ用ヰラレテ居リ

マスル貨物引換證ト云フモノモ殆ド總テ申シテ宜シヤウデアリマスガ、何レモ其甲又ハ持參人ト云フ形式デ發行セラレテ居ルデアリマス、ソコデ若シモ三百二十三條ノ規定スル所ニ依ッテ貨物引換證ニ必要荷送人ノ氏名又ハ商號ヲ記載セネバナラヌ、シカモ甲又ハ持參人ト云フ形式ニ致シマス、即チ現在行ハレテ居ル所ノ形ニ依リマスルト、是ハ第四百四十九條ノ二ノ規定ニ依ッテ無記名式ノモノト看做サレルト云フコトニナルデアリマスカラ、茲ニドウシテモ其法律上ノ一ノ疑問ガ起ラザルヲ得ナイデアリマス、即チ無記名式ト看做サレル所ノモノナラバ、ソレハ即チ無記名式ト同様ノ規定ニ從ハネバナラヌ譯デアリマスカラシテ、既ニ三百二十三條ニ於テ荷送人ノ氏名又ハ商號ヲ記載セヨト云フコトガ命セラレテ居ル以上ハ、是ハ無記名式ノ發行ハ出來ナイ、無記名式ノ發行ガ出來ナケレバ無記名式ト看做サルベキ甲又ハ持參人ト云フ形式モ矢張り同ク發行ガ出來ナイモノト言ハナケレバナラヌト云フ一方ニ論ガアルデアリマス、又他ノ一方ニ於キマシテハ此第二百八十二條ニ於テ四百四十九條ノ二ノ規定ハ金錢其他ノ物ノ給付ヲ目的トスル有價證券ニ之ヲ準用スルコト云フコトガアルデアリマス、ソコデ貨物引換證ハ即チ其他ノ物ノ給付ヲ目的トスル有價證券デアアル、而シテ四百四十九條ノ二ノ規定ヲ準用サレルノハ甲又ハ持參人ト云フ形式デ發行シテモ差支ナイト云フ斯ウ云フ論モ一方ニアルデアリマス、ソレデ要スルニ二百八十二條ノ規定ハ適用如何ト云フコトニ依ッテ貨物引換證ハ甲又ハ持參人ノ形式デ發行シテモ宜イト云フ論ト、ソレカラ甲又ハ持參人ノ形式デハ發行ガ出來ナイト云フ論ト二ツノ議論ガアルデアリマス、既ニ此修正案ノ上ニ於キマシテ其論ハ宜シク一致シテ居ラナイヤウニ見エルデアリマス、且ツ當業者ニ於キマシテハ矢張り甲又ハ持參人ト云フ形式ニ於テ發行スルコトヲ認メテ貰ヒタイト云フ希望モアルデアリマス、豫ネテ又申上ケマシタ通りニ貨物引換證ニ關スル三百二十三條ノ規定ト船荷證券ニ關スル六百二十二條ノ規定トハ其法文ノ趣旨ニ於テ符合シテ居ラヌデアリマスカラ、是等ノ理由ニ基キマシテ、詰リ二百八十二條ノ規定ト三百三十二條ノ規定ト四百四十九條ノ二ノ規定ト六百二十二條ノ規定ト皆宜シク趣旨ノ一貫スルコトニ改メタ方ガ宜シカラウト云フコトカラ第四百四十九條ノ二ノ二項ト云フモノヲ改メタルデアリマス、即チ學者論ハ全ク別ト致シマシテ此法文ノ趣意ヲ申シマスレバ即チ無記名式ト同一ノ效力ヲ有ツト云フコトニシタルデアリマス、發行ノ形ニ於テ無記名式ノ規定ニ從フコト云フノデハナイ、甲又ハ持參人ト云フ形式ニ於テ發行セラレタルモノハ其働キニ於テ即チ活動的ノ働キニ於テ又消滅スル場合ノ働キニ於テ無記名式ノモノト同様デアルト云フコトヲ現ハシタルデアリマス、即チ發行ノ形ニ付イテハ甲又ハ持參人ト云フモノハ無記名式ニ關スル規定ニ依ルノデハナイト云フコトヲ明ニシマシタ、隨ツテハ、第二百八十二條ノ規定ノ上カラ考ヘマシテモ三百二十三條ノ規定ノ上カラ考ヘマシテモ又六百二十二條ノ規定カラモ甲又ハ持參人ト云フ形式ヲ以テ貨物引換證券ヲ發行シ又船荷證券ヲ發行シテモ差支ナイト云フコトニ致シタルデアリマス、ソコデ斯ノ如ク第四百四十九條ノ二ノ二項ヲ改メマスルト云フト、第四百四十九條ノ三ト云フモノヲ茲ニ掲グル必要ヲ生ジタルデアリマス、是ハ先刻申上ケマシタ通りニ此改正ノ四百四十九條ノ二ノ二項ノ規定ハ無記名式ノモノト同一ニ看做スト云フコトニシテアリマシタカラ前條四百四十九條ノ規定ノ適用ニ於テ疑ハナカッタデアリマスケレド

モ、既二同一ノ效力ヲ有スルコトニ改メマシタ以上ハ、其發行ノ場合ニ於テ四百四十九條ノ規定ノ適用ハ無イ譯ニナリマシタカラ、特ニ四百四十九條ノ二ヲ置キマシテ、四百四十九條ノ規定ハ甲又ハ持參人ノ形式ニ於テ發行セラレタル爲替手形ニモ及ボスト云フコトニ致シマシタ、要スルニ趣旨ニ於テハ金額三十圓以上ノモノデナケレバ甲又ハ持參人ト云フ形式デ發行スルコトハ出來ナイコトニナルデアリマス、ソレカラ次ニ第五百二十三條デアリマス、此五百二十三條ニ付キマシテハ即チ小切手ノ呈示期間デアリマス、此呈示期間ハ現行法ニ於テハ一週間トシテアリマス、トコロガ其點ニ對シテハ手形交換所、或ニ聯合ノ各地ノ手形交換所カラ一週間デハ短キニ失スルカラ十日ニ改メテ欲シト云フ希望ガアルデアリマス、此小切手ノ呈示期間ニ付キマシテハ私ガ茲デ申上ゲル必要ハ無イコト、考ヘマスルガ、色ノ立法例ガアリマシテ寧ロ一週間ヨリモ短イ方ガ多イト申上ゲテ宜カラウト思フデアリマス、併ナガラ又一週間ヨリモ長イノガアルデアリマス、殊ニ或ハ臺灣デアリマス、樺太デアリマス、北海道、更ニ朝鮮ト云フヤウナ遠隔ノアル領土ノコトヲ考ヘテ見マスルコト云フ、之ヲ十日ニ延長イタシタ方ガ或ハ適當デアルカラ知レヌ、ソレデ矢張り是ハ當業者ノ希望ヲ容レルコトニナリマシテ即チ一週間ヲ十日ト云フコトニシタデアリマス、ソレカラ次ハ五百三十三條ノ二、五百三十三條ノ三、五百三十四條ノ二、ハ寧ロ一括シテ御報告致ス方ガ適當ト思ヒマス、先ヅ五百三十四條、此五百三十四條ノ規定ハ小切手ニ付イテ支拂拒絶證書作成ト云フヤウナ煩ハシイ手續ヲ爲サシテ唯支拂人ガ支拂ヲ拒絶シタコトヲ小切手ニ記載スレバ是ガ支拂拒絶證書作成ト云フ正式ノ手續ニ代ルト云フコトヲ規定シテアルデアリマス、改正案ニ於キマシテハ五百三十四條ヲ削除イタシマシテ即チ小切手モ爲替手形、約束手形ト同一ノ規定ニ依ルト云フ趣旨ヲ採用イタシタデアリマス、其立法上ノ理由ニ至リマシテハ既ニ政府委員ヨリ説明サレタコト、存シマスカラ其コトハ私ハ申上ゲマセヌガ、第五百三十四條ノ削除ニ對シテハ矢張り此五百三十四條ヲ復活シテ貫ヒタイト云フ希望ガ手形交換所カラ出デ居ルノデアリマス、デ削除イタシマシタ所ノ理由ト復活ヲ希望スル所ノ理由トハ固ヨリ兩立スル譯デハナイデアリマス、小切手ニ付イテ現在簡便ノ制度ガ行ハレテ居タルデアリカラシテ、假令拒絶證書ノ制度ガ頗ル簡易ノモノニ改マデモ尙ホ是モ一層簡易ナル手續ヲ保存シテ置イテ貫ヒタイト云フ希望デアリマス、立法上ノ議論ト致シマシテハ隨分可否イアレノ議論モ私ハ出來ヤウト自分ハ思フデアリマスケレドモ、現在行ハレテ居タルモノヲ削除スルコト云フ重大ナル理由モ無カラウ、シカモ交換所舉テ此復活ヲ希望スル以上ハ、其希望ニ副ウテ宜シカラウト云フコトガ採用サレマシテ、即チ五百三十四條ヲ削除スルコト云フコトヲ削除イタシマシテ、即チ五百三十四條ノ現行法ノ規定ガ復活スルコト云フコトニナッタデアリマス、ソコデ是ハ牽聯イタシマシテ尙ホ此小切手ニ付キマシテハ今日隨分澤山發行セラレテ、而シテ手形交換所ニ於テ交換ノ爲ニ提出セラル、所ノモノハ隨分其數ガ多イデアリマスカラ、手形交換所ノコトヲ此法律ニ認メテ五百三十三條ノ二ノ如ク小切手所持人ガ支拂人ノ加入シテ居ル手形交換所ニ小切手ヲ提出シタル如キハ正當ニ呈示シタルト同一ノ效力ヲ生ズルコト云フ趣旨ヲ採リマシタ、サウシテ支拂拒絶ノアツタ場合ニ於キマシテ手形交換所ト云フモノガ其提出セラレタル小切手ニ付イテ呈示アリトシテ、提出アツタニ拘ラズ支拂拒絶ガアツ

タト云フコトヲ手形交換所ガ證明シタナラバ、是モ亦支拂拒絶證書作成ニ代ッテ法律上同一ノ效力ヲ生ズルコト致シタ方ガ實際ニ便宜甚ダ多キモノデアラウ、デ此五百三十三條ノ三、五百三十四條ヲ加ヘタル所ノ一項モ、何レモ是ハ當業者ノ希望ニ基イテ居ルデアリナイデアリマス、併ナガラ既ニ五百三十四條ヲ復活イタシテ、小切手ニ付イテ簡易ナル拒絶證書ノ制度ヲ採用イタシマシタル以上ハ、更ニ一歩ヲ進メテ現在盛ニ行ハレテ居ル所ノ手形交換制度ニ伴フテ此簡便ナル手續ヲ認ムルガ頗る便宜デアラウト云フ所カラ此箇條ヲ置イテ譯デアリマス、ソレデ併ナガラ總テノ手形交換所皆然リト云フ譯ニハ參リマセヌデアリマス、其次ニ五百三十四條ノ二ト云フモノヲ置キマシタノハ、司法大臣ノ指定シタル交換所、即チ大ニ信用アル所ノ手形交換所ニ付イテ之ヲ適用シタイト云フ意味ヲ明ニシタデアリマス、ソレカラ五百三十四條ヲ復活イタシマシタルニ付キマシテハ、唯今申上ゲマシタ所ノ數條ト牽聯シテ此呈示期間ト云フ文字ヲ用井ル必要ヲ生ジタデアリマス、シカモ此呈示期間ト云フ文字ハ爲替手形ノ所ニモ、約束手形ノ所ニモ用井ラレテ居ル文字デアリマスカラ、ソレデ五百三十四條ニ「前條第一項ニ定メタル期間」ト云フノヲ「呈示期間」ト云フコトニ改メタデアリマス、ソレカラ五百三十三條ノ二デアリマス、五百三十三條ノ二ト云フモノハ、是ハ少シク異タ理由カラ此所ニ認メラレタデアリマスガ、此小切手ノ保證ト云フコトハ現在廣ク行ハレテ居ルヤウデアリマス、ソコデ商法ノ上カラ申シマスルコト云フ、小切手ノ保證ト云フモノハ爲替手形ノ引受ト同視スベキモノデアリナイデアリマス、手形引受ハ確ニ商法デ效力ヲ生ズルケレドモ、小切手ノ保證ト云フモノハ效力アリトシテモ、民事上ノ效力デ、廣ク言フ民事上ノ效力シカナイノデ、手形上ノ效力ハ無イ、ト云フノガ先ヅ一般ノ解釋ニナッテ居ル、ト云フノハ手形法ノ上カラ誤リナイ所ノ解釋デアラウト存シマス、トコロガ現在ニ於キマシテ、銀行ガ小切手ノ仕拂ヲ致シマストキニ、其保證ヲ致シマシタトキニハ、其保證シタル金額ニ付イテ例ヘバ振出人ノ預金ノ上ニ優先權ガ無イト云フコトニナッテハ甚ダ銀行ガ迷惑スルデアアル、一方ニハ保證ニ依ッテ所持人ニ對シテ手形小切手ニ記載ノ金額ヲ支拂ハナケレバナラヌ債務ヲ負擔シテ居ッテ、サウシテ後ニ振出人ガ破産シタ場合ニ振出人ノ預ケテ居ル所ノ預金ハ之ヲ振出人ノ破産財團ノ中ニ入レテ自分ノ又一箇ノ債權トシテ他ノ債權者ト同様ノ率ノ分配ヲ受クルコトニナルノデ、ソレハ銀行業者ガ甚ダ迷惑スル、故ニ少ナクトモ其保證シタル金額ニ付イテハ、萬一振出人ガ破産シタル場合ニハ優先權ヲ認メテ貫ヒタイト云フコトハ是ハ私ノ承知イタシテ居ル所ノ範圍ニ於キマシテモ、銀行家多年ノ志望デアアルヤウデアリマス、又一方ニハ保證ト云フ制度ヲ爲替手形引受ノ如キ意味ニ於テ認メテ貫ヒタイト云フ希望ガアルデアリマス、其趣旨ハ即チ一デアアルデアリマス、併ナガラ此保證ヲ認メテ貫ヒタイト云フ趣意モ、ソレカラ優先權ヲ認メテ貫ヒタイト云フモノ、是ハ何レモ其振出人ガ破産シタル場合ニ於テ其適用ヲ……實際上ノ適用ヲ見ル譯デアアルデアリマス、ソレデ何レ破産法ノ全部モ遠カラザル中ニハ新ニ出來ルコトデアアルサウデアリマスカラ、其破産法中ニ銀行家ノ志望スル所ノ優先權ヲ認メルト云フコトニ致シタナラバ、蓋シ其志望ニ副フデアラウ、破産法ノ問題ト致シタ方ガ宜シカラウケレドモ、既ニ保證ト云フ制度ガ手形保證ノ效力ガ無イト云フコトニ致シマシタ以上ハ多少之ト趣旨ヲ同ジウシテ居ルトハ申上ゲマセヌガ、其趣旨ノ一部分ヲ採ッテ居ル所ノ制

度此五百三十三條ノ二ト認メテ宜シカラウ、爲替手形ニ付キマシテハ振出人ガ爲替手形ヲ發行シテ支拂人ニ對シテ支拂ノ委託ヲナシテモ、支拂人ガ引受ヲサザル間ハ何時デモ之ヲ取消スコトガ出來ルノデ、取消シテ以上ハ支拂人ガ支拂ヲシテハナラヌト云フ法律上ノ效果ヲ生ズルノデアル、サウシテ支拂人ガ引受ヲナシテ以上ハ、最早取消シテ所ガ支拂人ガ引受人トナシテ支拂ノ義務ヲ負擔シテ居ル譯デアリマス、要スルニ取消ノ效力ハ無イコトニナルデアリマス、トコロガ小切手ニ付イテハ是ハ支拂條件トシテ其小切手ヲ受取ツ者ガ支拂ヲ受クル希望ヲ大ニ確實ニシテヤラネバナラヌト云フ必要ガアルノデアリマシテ、又他ノ一方ニハ何時デモ支拂ノ委託ヲ取消サレテハ折角小切手ヲ受取ツ者ガ支拂ヲ受クルコトガ出來ヌト云フコトニ立至ルノデアリマス、而シテ引受ト云フモノノナイ以上ハ特ニ支拂ノ委託ヲ取消スコトノ出來ナイ期間ヲ法律ニ定ムルノ必要ヲ生ズルノデ、即チ十日ハ……一週間ガ十日ニ延ビマシテハ十日ノ期間内ハ何時デモ所持人ハ銀行ニ行ッテ支拂ヲ受クルコトガ出來ル、シカモ其支拂ヲ受クルノ希望ガ確實デナケレバナラヌデアリマス、ソレデ第五百三十三條ノ二ニ於テ呈示期間内ノ支拂ノ委託ヲ取消スコトガ出來ヌ、法律上ノ權利トシテ所持人ガ支拂人ニ支拂ヲ要求スルコトガ出來ナクモ振出人ニ於テ支拂ノ委託ヲ取消スコトガ出來ヌトシテ置ク以上、蓋シ銀行ニ於テ謂ハレナク支拂ヲ拒絕スルコトハナイデアリマス、ソレカラ一トビ其呈示期間ガ經過イタシマスレバ、ソレハ支拂人ハ支拂ノ委託ヲ取消シテモ宜イデアリマスケレドモ、併ナガラ未ダ其取消ヲサザル間ハ支拂人ハ矢張り支拂ノ委託ニ應ジテ有效ニ支拂ヲシテ、サウシテ其支拂ヲナシタル效力ヲ振出人ニ對抗スルコトガ出來ル、是ハ十日ト云フ呈示期間ハ定マツテ居リマスガ、併ナガラ實際ニ於テハ其呈示期間ガ過ギタラ直グニ支拂ヲ拒絕シナケレバナラヌト云フコトハナイデアリマス、又事實ニ於テ支拂ヲ爲シタル例ハ少ナカラズアルデアリマス、支拂ヲ拒絕シタル例モアリマス、ケレドモ支拂ヲシタル例モアリマス、外國ノ小切手ニ於キマシテモ決シテ珍シイコトハナイデアリマス、故ニ此趣意ヲ採ツテ第五百三十三條ノ二ノ二項ヲ設ケタデアリマス、ソレカラ六百二十二條、是ハ船荷證券ニ關スル規定デアリマスガ、是ハ前キノ四百四十九條ノ二ト牽連シテ申上ゲタデアリマスカラ、再ビ説明ハ致シマセヌ、ソレカラアトハ附則デアリマスガ、此附則ノ第十五條ニハ、前キニ申上ゲマシタル百九十四條ノ二ト云フモノヲ加ヘマシタカラ、ソレデ之ヲ茲ニ加ヘルノ必要ヲ生ジタルデアリマス、ソレカラ次ハ三十六條デアリマス、「附則第三十三條及ヒ第三十四條ノ規定ハ小切手ニ之ヲ準用ス」、形ノ上デハ削除シテ居リマスガ、其實ニ於テハ赤イ方ノ二項トシテ、ソッグリ同一ノ規定ガアリマス、三十六條ノ一項ノ規定ヲ設ケマシタルハ唯今御報告イタシマシタル所ノ五百三十三條ノ二ニヤ五百三十四條ノ二項ガ新ニ設ケラレマシタカラ之ガ施行規定ヲ設ケタニ過ギマセヌ、ソレカラ二十九條ハ例ノ署名ニ關スル規定デ前キニ申上ゲマシタカラ更ニ説明ヲ致シマセヌ、大體唯今申上ゲタ所ノ趣意ト考ヘテ居リマス、尙ホ此各地ノ團體ヨリ提出ニナツテ居リマス所ノ修正ノ希望中ニ於テ委員會ニ於テ採ラザリシモノモ相當アルデアリマス、併ナガラ其採ラザリシモノニ付イテ一々茲ニ説明ヲ致スモ煩ハシイウデアリマス、若シ御尋ネガアリマスレバ小委員會ニ列席ノ諸君カラモ御話ガゴザイマセウト考ヘマス、ソレカラ尙ホ私一人トシテ

小委員會ノ經過ヲ申上ゲタデアリマスガ、或ハ足ラザル所モゴザイマセウ、又万々誤リガナイトモ申サレマセヌガ、若シ誤リガアリト致シマスレバ他ノ委員カラ訂正イタサレルコトデアラウト存ジマス

○富井政章君 第二百六十一條ノ修正ハ私カラ述ベト云フコトデゴザイマシタ、是デケ私カラ述ヘル理由ハ無イト思フデアリマスケレドモ、マア簡單ニ述ベマス、二百六十一條ノ刑罰規定ニ付キマシテハ此特別委員會ニ於テモ又小委員會ニ於テモ刑罰ガ重キニ過ギルト云フヤウナ意見ハ出ナカッタデアリマス、唯此規定ノ適用範圍ガ何トナク少シク廣過ギル、何カ少シ言葉ガ足ラヌヤウナ感シガスルト云フ説ガ頻ニ出タルデアリマス、殊ニ意思ガナクテモ適用ガアルヤウニ讀メマス、ソレハ甚ダ穩デナイ、何カ「故意ニ」トカ「不正ノ目的ヲ以テ」トカ或ハ「會社ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ」トカ何カ少シ制限ノ言葉ヲ加フル必要ハナイカ、其點ヲ小委員會ニ於テ審査スル答デアッタデアリマス、トコロガ小委員會ニ於キマシテ段々審議ヲ遂ゲタデアリマスガ、ドウモ入レル言葉ガ甚ダムツカシイデアリマス、「故意ニ」ト云フ言葉ハ如何ニモ穩當デナイト思ウタデアリマス、任務ニ背キタル行爲ヲ爲スニ故意ガナクテハナラヌト云フコトハ是ハ刑法ノ通則ニ依ツテ決マツテ居ルコトデアリマシテ、此條ニ限ツテ其言葉ヲ入レルト云フコトハ立法ノ體裁トシテドウモ甚ダ宜シキヲ得ナイコトデアラウト思フタデアリマス、「不正ノ目的ヲ以テ」ト云フヤウナ言葉ハドウデアラウカト云フヤウナ説モ出タルデアリマスガ、是モ目的ハ不正デナイ場合モアルデアリマス、例ヘバ重役ガ相場ヲスルトカ、自分ノ會社ノ株ヲ買占メルトカ云フヤウナコトハ其行爲ハ任務ニ背キタル行爲デアルケレドモ、目的ハ會社ノ利益ヲ計ル目的ヲ以テスルノカモ知レナイ、目的ハ必シモ不正ト云ヘナイデアリマスカラ「不正ノ目的ヲ以テ」ト云フ言葉モ面白クナイ、又刑法ノ第二百四十七條ニ云ツテアル如ク「自己若クハ第三者ノ利益ヲ圖リ又ハ會社ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ」ト云フヤウナ言葉ヲ入レタハドウデアラウカ是ハ當業者カラ出タ意見書中ニモアリマスシ、又世間ニモサウ云フ説ヲ唱ヘテ居ル人ガ隨分アルヤウデアリマス、併シ斯ノ如キ制限ヲ設ケルト云フコトハ、如何ニモ立法ノ趣意ニ違フコトニナルト思フデアリマス、サウ云フ目的ヲ以テスル場合デアレバ刑法ニ規定ガ有ルデアリマス、刑法第二百四十七條盡シテ居ルデアリマス、唯罰金ガ少シ違フト云フデケノコトデアル、何モ此度二百六十一條ノ如キ規定ヲ設ケル必要ハ無イ、何故ニ斯ウ云フ規定ヲ必要トスルカト云ヘバ、詰リ刑法ニ云ツテアルヤウナ目的ヲ以テシナイ場合ニモ尙ホ罰金セバナラヌ必要ガアル、ソレハ即チ唯今申上ゲマシタル自分ノ會社ノ株ヲ買占メルトカ、或ハ投機ヲスルトカ、或ハ議員間ニ運動費ヲ撒クトカ云フヤウナ行爲ハ著シク任務ニ背キタル行爲デアリマスケレドモ、ソレハ自己ノ利益ヲ圖ル目的ヲ以テスルノデモナク、會社ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テスルノデモナイカモ知レナイ、寧ロ會社ヲ利スル目的ヲ以テスルカモ知レナイ、サレバト云ウテサウ云フ行爲ヲ不問ニ付スルト云フコトハ、ドウシテモ出來ナイ、刑法ノ規定デハサウ云フ場合ガ漏レルカラ、此規定ヲ置カレタデアリマス、ドウシテモサウ云フ目的ヲ必要トスルナラバ、此規定ハ削除スルノモ同ジコトデアル、全ク刑法トノ鈞合モ取レズ、又此規定ヲ設ケル趣意モ貫徹シナイト思ヒマス、ソレデ何カ制限ノ言葉ヲ加フルナラバ任務ニ背キタル行爲ヲ爲スニ付イテハ故意ヲ要セナイケレドモ、會社ニ財産上ノ損害ヲ加フルト云フ意思ハ無クテハナラヌカ、無

タテモ宜イノカ、其點が原案デハ少シ不明瞭デア、此點ハ疑問トナルデアラウト思フ、其點ヲ明ニシテ會社ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テト書イテハ、唯今申上ケマシタ通り刑法ト同ジコトニナッテ仕舞フカラ、ソレデハイカナイケレドモ、ソレヲ知ッテヤルト云フコトガ必要デア、ソレデ故意ノ言葉ハアリマセヌケレドモ、故意ニ會社ニ損害ヲ生ズベキコトヲ知リシ、任務ニ背キタル行為ヲ爲シタ、斯ウ云フ趣意ヲ明ニシタ方宜カラウト思フデアリマス、試ニ損害ヲ生ズベキコトヲ知リテト云フ言葉が這入ッタト云フ、マア私ハサウ云フ趣意デアッタト解スルノデアリマスガ、尙ホ足ラザル所カ、誤ッテ居ル所ガアレバ他ノ御方ミカラ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマス

○穂積八束君 一ツ二ツ御尋ネラ致シタイノデアリマスガ、此場合宜シウゴザイマスカ

○委員長(男爵波多野敬直君) 宜シウゴザイマス

○穂積八束君 チョット文字が自分デ讀メマセヌカラ、一ツ二ツ伺ヒマス、私ハ能ク缺席ヲ續ケマシタカラ、残念ナガラコ、デノ御申合ノコトヲ今マデ承知シテ居リマセヌデアリマスカラ、重複シテ御尋ネスルヤウナコトガアルカモ知レマセヌ、唯今小委員ノ御方ノ御説明ニナリマシタ第百九十四條ノ二ト云フ所ニ「財産ニ附スル債權カ取得價額又ハ製作價額ニ超ユルトキハ其差額ハ利益トシテ之ヲ處分スルコトヲ得ス」ト云フ文字ガアリマスガ、唯其文字ガチヨット讀メナイデア御尋ネスルデアリマス、此差額ト云フモノハ利益デアアルガ、併シ處分スルコトハ出來ナイト云フヤウニ讀ムノデゴザイマセウカ、或ハ此差額ハ法律上、利益ト看做サナイト云フ意味ニ讀ムノデゴザイマセウカ、チヨット分リニクイヤウデアリマス、御説明ノ中ニ此差額はハ別ニ積立テ、置クトカ云フヤウナコトモアッタカト思ヒマシタガ、聽達ヒカモ知レマセヌ……サウスルト或ハ前ニアル第百九十四條第一項ニ「損失ヲ填補スル爲メ其資本ノ四分ノ一ニ達スルマテ準備金トシテ利益ノ二十分ノ一以上ヲ積立ツルコトヲ要ス」トアリマスガ、若シ此積立ニ入レルモノトシテハ矢張り此立法ノ主義ガ立タヌヤウニ思ヒマスガ、定メシサウデアアルマイト思ヒマス、若シ此積立ヲ入レルナラハ矢張り此條ガ第百九十四條ノ二ニアッデ目的ヲ達セヌヤウデアリマス、サウデアアルマイト思ヒマスガ、ドウ云フヤウナ意味ニナルデアリマスカ、利益ト云フコトノ意味ガ能ク分ラヌ、利益ト云フコトハドウ云フモノカ知ラヌト思フ、此法律若クハ他ノ法律ナドニ往々例ヘバ會社ノ利益ガ何歩ニ達スルマデハ補給ラシタル、或ハ會社ニ損失ガアッタトキハ填補スルナド、云ウテ損失トカ利益トカ云フコトヲ目安トシテ種々ナ法律ニ關係ノ規定ガ定マッテ居ルモノモアリマセウカ、コ、ニ云フ謂ハル取得價額又ハ製作價額ト時價トノ差額ト云フモノハ矢張り其利益ト見レベキデアリマスガ、サウ云フ場合ニハハ利益ト見ナイノデアアルカ、文字上ノ話デスガ、チヨット説明シテ下サラヌカ

○岡野敬次郎君 私人説明ガ先刻足ラナカッタカモ存ジマセヌ、一言ニシテ申上ケレバ利益デアアル、併ナガラ利益トシテノ處分ヲ許サヌト云フ意味デアリマス、是ハ利益ト云ヒ、損失ト云フハ何レモ貸借對照表ノ上ニ於テ言フ言葉デアッテ、先刻モ申上ケマシタ通りニ實際會社ノ財産ハ餘リアルニモ拘ラズ百九十四條ノ即チ改正案ノ通りニ致シテ低イ價額ニ見積ラナケレバナラヌト云フコトニ致シマス、貸借對照表ノ上ニ損失ヲ書カネバナラヌト云フコトニナル道理デアリマス、ケレドモソレハ會社ノ信用ヲ傷ケル所以デアルト云フ非難ガアリマシテ、即チ二十六條ノ第二項ノ規定ニ依ッテ時價ヲ超エザル範圍ニ於

テハ財産ハ一パイニ見積ッテ宜シイ、一パイニ其財産ヲ見積ッテ謂ハル貸方ト借方ノ總額ヲ比較シテ差引ヲシマス、其結果ハ損失カ或ハ利益ニナルモノデア、損失ヲキメテハイカヌ、利益アルナラハ矢張り利益アル如クニ之ヲ計算書類ノ上ニ明ニスルガ宜シカラウ、斯ウ云フ譯デアリマスカラ貸方借方ノ總額ヲ對照シテ、サウシテ引イタモノハ矢張り利益トシテ現レル譯デアリマス、即チ損失ヲ示スト云フコトハイカナイカラ、損失ヲ示サナイデモ宜イコトニシヤウト云フコトハ、其中ニ既ニ矢張り利益トシテ現レテモ差支ナイト云フ意味ヲ含シテ居、如何トナレバ利益モ損失モ貸借對照表ニ書イタルカラ同ク原則ノ下ニ從ハネバナラヌ、故ニ利益トシテハ現レル、ケレドモ利益トシテ處分スルコトハ出來ナイ、ソレハ差額ノ積立金ト云フヤウナ名稱デ以テ積立テタル譯ニナル、而シテ御質問中ニアリマシタ通り百九十四條ノ第一項ノ法定準備金ノ中ニ入レル譯デモナイノデス、又損失ヲ填補スル爲メニ之ヲ利用シテ宜シイト云フ意味デモナイ、詰リ取得價額百圓ノモノガ現在百五十圓ノ價額ヲ持ッテ居レバ、差ノ五十圓ハ利益ノ形ヲ以テ矢張り貸借對照表ノ上ニ現レル、併ナガラ其五十圓タルヤ、有ルガ如ク、差額ガ下落スレバ又消滅スル危險ガアルモノデアリマスカラ、其危險ノ繼續シテ居ル間ハ利益トシテ處分スルコトヲ許サナイ、若シ其財産ヲ現在三賣却シテ五十圓ヲ實收シタナラバ其五十圓ハ純粹ナル利益トシテ處分シテ宜シイデア、其處分ヲシナイ間ハ差額ノ積立金ト云フ、名稱ハ不適當カ知リマセヌガ之ニ類スル名稱ヲ以テ積立ッテ置カネバナラヌ、斯ウ云フ趣意デ申上ゲタ積リデアリマス御分リニナリマシタカ

○穂積八束君 分リマシタ、サウシマスレバ利益ハ固ヨリ財産目錄ノ對照表カラ當然出テ來ル利益デカラ、何所マデモ是ハ利益デア、故ニ例ヘバ他ノ法律ノ關係ニ於テ會社ニ利益ガ生ジタカラ補給ヲ止メルトカ、會社ニ損失ガアレバ填補スルコト云フヤウニ、其差額ガ矢張り利益タル效能ヲ以テ勵クモノダト斯ウ解釋シテ宜カラウト思フ、ソレハドウデセウカ

○岡野敬次郎君 補給ノ關係ノコトニ付キマシテハ損失ヲ填補スルコト云フコトモアルヤウデス、其損失ヲ填補スルコト云フ文字通りデアリマスレバ、此規定ニ依ッテ利益ヲ生ジタルトキハ損失デアナイノデスカラ、其爲ノ補給ハ出來ナイノデス、其他ノハ多クハ配當利率ヲ標準ニシテ居リマス、是ハ配當ノ方デハナイ、多クノ補給ハ配當ノ利率ヲ標準トシテ居リマスカラ、此商法ノ規定ニ依ッテ、株主ニ配當スルモノハ年六朱ニ滿タサルトキハ六朱トカ、八朱ニ滿タサルトキハ八朱トカ致シマスカラ、ソレニ付イテハ百九十二條ノ二ト云フモノハ全然關係ノ無イモノト見ルコトガ出來ヤウト思ヒマス

○村田保君 段々、小委員ノ諸君ニ於キマシテ數日間ノ御調ベニナリマシテ、段々修正ニナリマシタ點ヲ拜見シマシタガ、各所カラ出テ居マス意見ハ大概御採用ニナッタヤウニ思ヒマス、是デハ大概私ドモ考ヘテハ此上異存ガ無イコト、思ヒマス、併ナガラ私ドモハ一向實業ノコトニ少シモ携ハッテ居ラヌモノデスカラ、商法上ノ運轉ノコトナドハ、チットモ分ラヌ、段々此中ニハ實業ニ從事ナスッタ方ガ委員ニナッテ居ラシヤル、ソレ等ノ方ガ宜イト御認メデアレバ私ドモハ別ニ何モ此上修正シヤウト云フコトモアリマセヌ、誠ニ結構ナ修正ト思ヒマス、併ナガラ此中ニ先キホド岡野君カラ御話ガアッタガ、段々出テ居ル中デ採用シナイモノモアル、併シ採用シナイ分ハ一々説明ラシナイ、質問ニ應ジテ説明ラ

シヤウト云フコトデアリマシタガ、二三ノ箇條ニ付イテテヨット同ッテ置キタイ、ソレカラ先キホド富井君カラ此二百六十一條ノ罰則デスガ、是ハドウ云フモノデゴザイマセウカ「會社ニ損害ヲ生スヘキコトヲ知リテ」云フコトヲ加ヘルハチト蛇足デハナイカト思ヒマス、ドウモ知ラヌデ以テヤツタ者ハ罪ニナラヌ、刑法ノ原則上ドウモ意思ガ無クテヤツタコトヲ罰スルト云フ道理ハ無い、ヤツタノハ知ッテヤツタニ違ヒナイ、サモナケレバ罰シヤウガ無いト思フ、却ッテ蛇足ヲ加ヘタヤウナモノニ私ドモハ考ヘマスガ、ソレトモ之ヲ加ヘナケレバ、ドウシテモ之ヲ有意ノモノト見ラレヌト云フコトヲ御加ヘニナツタノデスカ、私ドモハ之ガ無クテモ意思ガアツテ故意ニヤツタト云フコトハ分ッテ居マス、サモナケレバ決シテ罰スル道理ハナイ、ソレカラ何ヲ少シ伺ヒタイノデス、段々此手形交換所、商業會議所カラ出テ居ル中デ御採用ニナラヌモノモアリマス、其中實際ドウモ私ドモが見テ居ッテモ、随分自分ノ債務ヲ質權トスルト云フヤウナコトハ銀行ナドニモ往々アルコトト私ドモ思ッテ居リマス、各地手形交換所ノ中ノ十一ノ所デゴザイマス、横濱カラモ出テ居リマスシ大阪アタリカラモ出テ居ル、自己ノ債務ニ對スル質權取得ニ關スルト云フ、是ハ實際アリハシナイカト思フノデス、現ニ私ドモ知ッテ居ルコトガアルノデスガ、斯ウ云フコトハドウ云フ譯デ御採用ニナラナイノデアリマスガ、又此無記名式ノ二十圓以上ト限ッデアリマスガ、是モ實際二十圓以下デアルコトモアリハシナイカト思フデスガ、是モドウシテモ二十圓以上ニシナケレバナラヌカ、ソレカラ登記手續モ是モ大概手續ガ簡シテ居ルヤウニアリマスガ、此十六ノ所、是等ハドウ云フモノデ御採用ニナラナカッタノデアリマスガ、是モ伺ッテ置キマスト大變ニ心得ニナリマス

○富井政章君 先キノ罰則ノ方ニ付イテテヨット御答ヘヲ致シマス、蛇足デナイカト云フ御意見デアリマスガ、或ハサウカモ知レヌ、唯我々ノ考ヘタ所デハ任務ニ背キタル行為ヲナシタトキハ是ハ明文ヲ待タナイ當然ノコトデアル、其結果トシテ財産上ノ損害ガ生ズルト云フコトハ「加ヘタルトキハ」トアリマスカラ或ハ「知リテ」ト云フコトハ要ラナイカモ知レヌノデアリマスルケレドモ、刑法ノ原則ニ據ッテ當然行為ガナクテハナラヌト云フコトハ是ハ寧ロ背任務ノ行為ニ係ルコトデ損害ノ發生ト云フ方ニハ係ラナイデハナイカト思フノデ念ノ爲ニ入レテ見タノデアリマスガ、皆サンノ御考ヘデ御削リニナツテモ私ハ異存ハ無いノデアリマス、ソレカラ昨日ノ新聞デアリマシタガ、此事ガ小委員會決マッタ後ニ各地ノ商業會議所聯合會ノ意見トシテ新聞デアリマシタガ、ソレニハ體刑ト云フコトハスッカリ廢メテ吳レト云フコトガ一つ、ソレカラ今一つハ任務ニ背キタル重大ナル行為ヲナスト云フコトニシテ吳レト書イテアル、是ハ一應尤モデアルト思フノデアリマスガ、ドウモ裁判官ガ重大非重大ト云フ見別ケスルト云フコトニ付イテハ非常ニ困ルコトニナリハセヌカト思フノデアリマス、寧ロ極輕微ナ行為ハ謂ハユル微罰不檢舉檢舉スルコトニナラナイ、較ニ重イ者ハ檢舉シテ罰金二十圓クライデモ濟ムノデアリマスカラ極輕イ金刑ヲ科スルコトニナルデアラウ、寧ロ其點ハ裁判官ニ任カシテ法文ニ重大ト云フヤウナコトハ無い方ガ宜イデアラト思フノデスガ、ソレヲテヨット御參考マデニ……

○岡野敬次郎君 先刻ノ村田君ノ御尋ネニ對シテ一應、小委員會ニ於キマシテ斯ノ如キ理由ニ依ッテ採用セラレナカッタデアラウト私ノ信ズル所ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、此前書ノ登記手續ヲ簡易ニスルト云フ點デアリマス、是ハ商法中ニハ此規定ハ掲ゲ

ラレテハ居リマセヌガ、非訟事件手續法ノ改正案ニ支店ニ於テ登記ヲナストキハ本店ニ於ケル登記ヲナシタル旨ノ證明ヲ得テ登記ヲナスコトガ出來ルト云フコトニ改メマシタ、即チ此手形交換所カラ提出ニナツテ居ル十五、十六ノ趣旨ニ於テ採用セラレタノデアリマス、即チ非訟事件手續法ニ其事ハ明カニ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ネハ爲替手形金額二十圓以上ニ限ッテ現行法ハ無記名式ノ發行ヲ認メテ居ルノデアアルガ、其制限ヲ廢シテ貫ヒタイト云フ希望デアル、之ヲ容レナカッタ、採用セラレザリ理由如何ト云フコトデアリマス、元來無記名式ノ發行ト云フコトハ外國ノ法律ニ於キマシテハ之ヲ許サルモノノ方ガ實ハ多イノデアリマス、其許サル理由ハ私カラ申上ゲルマデモナク、何分受取人ノ何人カモ手形ノ上ニ明記セラレテ居ラナイノデアリマスカラ、色々ノ弊害ガ之ガ爲ニ起ル虞ガアルノデアリマス、ソレデ現行法ニ於キマシテ二十圓ニ限リマシタ理由ハ若シ二十圓ガ果シテ適當ナル金額デアアルカドウカハ存ジマセヌケレドモ、先ツ相當デアル、稍、注意スルニ足ルノ金額デアッタナラバ其授受ノ際ニモ餘リ誤リハ無カラウ、必ズ注意ヲ喚起スルニ足ルダラウ、隨ッテ弊害ガ或ハ之ニ伴ッテ生ズベキコトヲモ豫防スルコトガ出來ラデアラウト云フ、斯ウ云フ趣意ニ基イテ即チ二十圓ト云フ制限ヲ設ケタヤウニ私ハ承知シテ居ルノデアリマス、之ヲ削除スル所ノ理由ト致シテハ此修正希望ノ理由ノ中ニ掲グラレテ居ル所ニ據レバ「受取人ハ多クハ支拂銀行ト取引ナキ旅行者等ナルヲ以テ」云々ト云フコトニナツテ居リマス、旅行者ガ諸リ旅行先デ金ヲ受取りマスルニハ例ヘバ東京カラ他ノ地ニ旅行シタトキハ東京ニ於テ或ル銀行ニ必要ナル金額ヲ拂ッテ、サウシテ其手形ヲ受取ッテ自分ガ之ヲ懷ロニシテ旅行先ニ行ッテ其銀行ノ支店ナリ或ハ取引銀行カラ金ヲ受取ルト云フコトニナルノデアリマス、此場合ニ記名式デアリマス、ドレダケノ不便ガアルデアラウカ、指圖式デアッタナラバ、ドレダケノ不便ガアルデアルカ、蓋シ旅行者ガ懷ロニ手形ヲ持ッテ歩クヤウナ場合ニ無記名式ヨリモ却ッテ記名式、指圖式ノ方ガ本人ニ取ッテ紛失盜失ノ危險ヲ防グニ便デアル、或ハ旅行者等ガ旅行先ノ各地ニ於テ少々金額ヲ受取ルヤウナ必要ノアル場合ニハ、今日デモ一片ノ手續ハナクシテ信用狀ト云フモノヲ發行シテ、ソレヲ懷ロニシテ持ッテ居ルノデアリマスカラ、是ハ二十圓以上ノコトハ少ナイデアリマセウ、萬一、二十圓以上デアッテモ手形モアレバ旅行者ノ爲ニ便利ヲ圖ルト云フコトニ付イテ金額ノ制限ハ左ホド妨害ニナルモノトモ考ヘナイノデアリマス、ソレカラ唯實際異ナル所ハ此二十圓以下ニ致シマシテモ小切手ト爲替手形ニ付イテハ私ハ今印紙稅ノ額ヲ委シク承知イタシマセヌケレドモ小切手ハ御承知ノ通りノ無稅デアル、爲替手形ニ付イテハ金額ニ依ッテ印紙稅ノ負擔ニ違ヒガアルト云フコトハ認メナケレバナラヌノデアリマス、之ヲ外ニ致シマシテハ此修正希望中述ベタル所ノ理由ニ依ッテ金額ノ制限ヲ撤回スルト云フコトハ、ドウモ至當デアリヤウニ、十分ノ理由アリトハ認メナイノデアリマス、私ノ信ズル所ハ唯今申上ゲタヤウナ理由ニ依ッテ制限ヲ廢スルト云フ希望ヲ容レナカッタと思ヒマシタ、ソレカラ第二ノ御尋ネハ自己ノ債務ニ對スル質權取得ニ關スル件、是ハ多クハ銀行業者ノ爲ス所デアリマシテ、一方ニ定期預金ヲ致シテ居リマシテ、サウシテ他ノ一方ニ於テ他ノ銀行カラ金ヲ借りル、其金ヲ借りル場合ニ於テ定期預金トシテ預ケタル所ノモノヲ擔保トシテ金ヲ借りル、斯ウ云フコトデアリマス、

ソレヲ詰リ法律ニ認メテ貫ヒタイト云フノデアリマス、其點ニ付キマシテハ私一人ト致シマシテ此商法改正案ノ立案ニ携ハリマシタ當時ニ於テ、色々銀行當業者ノ重立タ人ニ就イテ餘ホド質シタデアリマス、質シマシタ所ガ、其答辯ニ依ッテ推測ヲ致シマスルト云フト、盛ニ斯ノ如キコトガアルヤウニモ聞キマシタシ、又殆ド無イカノ如クニモ聞エルノデアリマス、事實ノコトハ或ハ私ハ能ク承知ヲ致シマセヌカモ、知リマセヌガ、先ツアルモノト見テ此問題ヲ考ヘテ見タノデアリマス、ソレデ私ハ何ノ必要ニ基イテ之ヲ法律ニ現ハスト云フコトヲ望ムノデアリカ、理由ヲ色々ト質シタ、トコロガ私一人トシテノ疑ヲ銀行者ニ述ベマシタ所ガ、定期預金ニハ期限ノ定メガアルカラシテ、間デ引出シタナラバ無論其定期預金ニ相當スル利子ヲ受取ルコトハ出來ナイ、期限ニ先ダッテ全部引出シタナラバ、其全部ニ對スル當座預金ノ利子シカ吳レナイ、又一部ヲ引出シタナラバ、其引出シタ一部ニ對シテハ矢張り當座預金ノ低イ利息シカ吳レナイノデアアル、故ニ定期預金ノ期限ニ先ダッテ引出スト云フコトハ、引出ス者ニ於テ不利デアルト云フコトハ認メル、併ナガラ他ノ一方ニ於テ銀行カラ金ヲ借リルトキニ、其借リル所ノ利息ト、ソレカラ定期預金ノ利息ヲ引下ガラレテ、當座預金ノ利息シカ附カナイモノト比較シテ、果シテ多クノ場合ニ於テ、何レガ融通ヲ求ムル者ニ於テ損デアアルコト云フコトヲ問ウテ見マシタ、トコロガ多クノ場合ニ於テハデス、シカモ大多數ノ場合ニ於テハ、定期預金ヲ引出シタ方ガ融通ヲ求ムル上ニ於テ計算上、得ニナルヤデアリマス、極メテ稀ナル場合ニ於テ却ッテ擔保トシテ借リルト云フコトノ方ガ利益ナル場合ガアルヤウデアリマス、併ナガラ必シモ其利息ノ差ノミニ依ッテ是ガ主張セラル、ノデハナクシテ、私ノ聞キ質シタ所ガ或ハ十分デアアルカモ存ジマセヌケレドモ、私ノ聞及シテ居ル所デハ、定期預金ト云フモノハ預金者ガ信用ヲ得ルノ一ツノ手段ニナッテ居ル、或ハ事業ヲ起ストカ或ハ其他ノ事ヲ計畫スルニ付イテ何々銀行ニ幾許ノ定期預金ガアルト云フコトニナッテ居ルコトガ、其者ニ於テ信用ヲ得ルニ便利デアルト云フコトガ、一方ニ定期預金ヲ引出サズシテ、サウシテ他ノ一方ニ於テ金ヲ借リルト云フコトノ必要ノ起ッタ所以ノヤウデアリマス、然ルトコロ若シ銀行ガ多クノ場合ニ於テ定期預金ヲ擔保トシテ、サウシテ自分ハ金ヲ貸ス、萬一ノ場合ニハ其定期預金ニ對シテ優先權ヲ有ツト云フコトニナルト云フト、或ハ銀行以外ノ第三者ノ方ハ其定期預金ガ幾許アルモノト信ジテ却テ誤ラレル、實際ニ於テハ銀行ガ優先權ヲ有ツテ居ルノデアアルガ、シカモ其優先權ノ及フ所ハ定期預金ノ幾部若クハ全部ニ近イ金額デアアル、斯ウ云フコトデハ却ッテ信用上如何ナモノデアラウカト云フコトヲ私ハ疑ッタデアリマス、ソレデ私一人トシテ當業者ニ就イテ聞キ質シマシタ所ハサウデアリマス、デアリマスカラ其理由ニ依ッテ規定ヲ設ケルト云フコトハ如何デアラウカト云フ疑問ヲ懷イテ居ッタデアリマス、ソレデ小委員會ニ於キマシテハ私ノ聞キ得タ所モ矢張り此問題ニ付イテ忌憚ナク申述ベマシテ、唯法律ノ問題トシテハ擔保ニナルカナラヌカト云フコトハ、多クハ皆ナ擔保タル力ガアル、即チ銀行ハ優先權ヲ取得スルコトガ出來ルト云フコトニ學說ハ定マッテ居ルヤウデアリマス、唯說明ノ理論ガ人ニ依ッテ少シ違フヤウデアリマス、蓋シ斯ウ云フヤウナコトガアリマシタナラバ、若シ是ガ訴訟ノ問題トナリマシタナラバ、無効デアルトカ優先權ガ無イトカ云フヤウナコトニハナルマイ、ソレデ之ヲ此形ニ於テ採用セザルモ差支ナイ、斯ウ云フ理由ヲ以テ法文ノ上ニ現ハレナカッタデアリマス

○村田保君 能ク御說明デ分リマシタガ、併ナガラ唯今ノ定期預金ノコトハ銀行ニ御尋ネニナッタ所ガ、一部デモ全部デモ、何時デモ拂戻ガ出來ルト云フコトデ、私ハソレハ實際ヲ能ク知リマセヌガ併シ定期預金ト云フモノハ本來一年ナラ一年ト定メタラ、其中ニハ返サヌト云フ性質ノモノデハナイカ、サモナケレバ定期預金ニシナクテモ宜イ、定期預金ト定メタラバ、例ヘバ一年ナラ一年ノ何月マデ之ヲ預ケル、其前ニハ引出ストハ出來ヌト云フノガ本來定期預金ノ性質デナイカト思ヒマス、サウシテ見マスト隨分、銀行ノ方デ定期預金ノモノナカラヤラヌ、其前ニハ返サヌト言ハレテモ仕方ガナイト思フノデスカ必ズドノ銀行デモ定期預金ニナッテ居ルモノヲ何時デモ拂渡シテ呉レ、ハ宜イガ、併ナガラ斯ウ云フ法律デモアレバ、ドウシテモ銀行ガ擔保ヲ取レバヤラヌクチャナラヌデセウケレドモ、何モ無ケレバ銀行ガ定期マデハ金ヲ渡サヌト言ハレタラ餘ホド商業者ナドハ差支ヘルコトデハナイカト思フノデスカ、ドノ銀行デモ總テ定期預金ヲハ定期ノ中ニ拂戻スコトニナッテ居ルノデスカ、チヨット伺ッテ置キマス

○岡野敬次郎君 私モ定期預金ノコトニ付キマシテ、エライ詳細ニ承知ハ致シテ居リマセヌガ、私ノ知ッテ居リマス範圍デ申上ケレバ、定期預金デモ何時デモ引出シテ、而シテ銀行ハ無論其定期ニ對スル高イ利息ヲ拂フ譯デハアリマセヌガ、當座ノ利息デケハ附ケルト云フコトガ一般ノ慣例ノヤウニ承ッテ居リマス、又サウ云フ風ニ承知シテ居リマス

○村田保君 ソレナラバ、斯ウ云フコトヲ橫濱、或ハ商業所、大阪取引所、各地ノ手形交換所カラ斯ウ云フコトヲ言ウテ來ヌデモ宜カラウト思ヒマス、トコロガ或ハ私ドモ疑フノハサウデヤ無イカト思フ、サウデ無ケレバ各地カラ斯様ニ異口同音ニ斯ウ云フコトヲ言ウテ來ル譯ハナイト思ヒマス

○岡野敬次郎君 私が修正ノ希望トシテハ理由書ニアル所ノ上ニ依ッテ判斷スルノデアリマスケレドモ、其以外ニ互ッテ私ノ推測デ申スノハ甚ダ危險デ或ハ申上ゲナイノガ宜イカモ知レマセヌ、ガ唯是ハ私ノ推測トシテ御聽キ下サルナラバ、之ニ依ッテ銀行ハ自分ノ御得意ノ便宜ヲ計ルコトガ出來ルソレニ先刻モ申上ゲマシタ通り定期預金ニ對シテ擔保トシテ金ヲ貸シテ、サウシテ其貸シタ金ニ付イテハ他ノ債權者ニ先ダッテ定期預金ノ中カラ自分ノ權利ヲ優先權ト云フノヲ行フコトガ出來ルコトニナッテ、御得意ハドウカト言ヘバ、銀行ニ對シテ定期預金ガアルト云フコトニ依ッテ、多少信用上、利スルコトガ出來ルノデアリマス、或ハ御得意ノ希望モ其所ニアルカモ知レヌ、得意ノ希望ガアレバ銀行モ之ニ應ジテ何等ノ危險ナク優先權ヲ行ッテ之ニ應ズルコトガ出來ルト云ヘバ銀行ハ固ヨリ其希望ヲ容レナイ道理モ無イノデアリマスカラ、或ハ銀行ノ得意ニ對スル便宜、而シテ己ノ利益ヲ傷ケザル範圍ニ於テ便利ヲ計ルコトガ出來ルト云フコトニ基キハセヌカト信ジテ居リマス

○村田保君 信用上ノコトハ別問題ダト思フ、銀行ガ定期預金ヲ扱ッテ何時デモ取りニ來タトキ拂ハナクチャナラヌト云フノデハ、大キナ定期預金困リハシナイカト思フ、十萬、二十萬ノ定期預金ヲシテハ一年ノ間ニ融通スルモノダト云フノデ銀行デモ計畫シテ居ルノヲ定期以內ニ取りニ來タトキ返サナクチャナラヌト云ヘバ、銀行ハ安心ガ出來ヌヤウニナル、ソレナラ定期預金デナク、當座ノ性質ニナリハセヌカト思ヒマス、ソレデ尙ホ御尋ネシマスガ、銀行ニ於テ定期以內ニ受取ニ來タトキハ拂ハヌト云フコトガ言ヘサウナモノダ

ト思ヒマスガ、言ヘナイノデアリマスガ、私ハ銀行ノコトナドハ能ク知ラヌカラ伺ヒマスガ、定期以内ハ拂ハヌト云フコトガ言ヘサウナモノダト思ヒマスガ、言ヘヌモノデセウカ、餘ホド實際ハ困リハシナイカト思フ

○岡野敬次郎君 唯今ノ御尋ネニ對シマシテハ小委員會ニ於テ討議ノ問題トシテ研究シタノデアリマセヌ、其コトハ豫メ申シテ置キマスガ、私一人ノ考ヘトシテ御質問ニ御答ヘテ致シマスレバ、既ニ期限ヲ定メタル以上ハ、金額ノ多或少ナクハ問ハズ、私ハ其定期以内ニ於テ債權者カラ自由ニ銀行ニ對シテ支拂……預金ノ引出シヲ請求スルコトハ法律上ハ出來ナイト云フガ正シカラウト思ヒマス、其期限タルヤ實ニ預金者ノ爲メニノミ設ケタル期限デ無ク、村田君ノ御質問中ニモアル如ク、銀行ノ利益モ見テ期限ヲ定メルノデアリマスカラ、其期限ノ經過セザルニ先ダツテ自由ニ請求ハ出來ナイ、是ハ法律上ノ問題トシテノ私ノ御答ヘハサウナクテハナラヌコト自分ハ思ヒマス、併ナガラ一般ノ慣例トシテ殆ド例外ナク皆定期預金ト雖モ、間ニ支拂ヲ存シテ而シテ當座ノ利息ヲ付ケルコトハ例外ナク行ハレテ居リマス、是ハ無論慣習法トシテアルノデアリマセヌ、又中ニハ定期預金トシテ期限内ニ引出サル、コトヲ豫想シテ其コトヲ契約ノ中ニ加ヘテ居ルノモアルヤウデアリマス、實際ノ問題トシテハ必シモ法律通りノ權利義務通りニハ行ハレテハ居ラヌ、寧ロ何レノ場合デモ、何時デモ自由ニ引出スコトが出來ルヤウニナツテ居ルヤウデアリマス

○村田保君 私ハ能ク存ジマセヌガ、定期預金ノ證書ニハ期限内ニハ拂出スコトハ出來ヌト云フコトガアリハセヌカト思ヒマス、サモナケレバ定期預金證ト云フモノヲ拵ヘル必要ハ無いノデアリマスカラ、必ズサウ云フコトガ書イテアリハシナイカト思フ、ソレデスカラ實際ハ成ルホド今日サウ云フコトヲヤツテルニ違ヒナイ、信用上ト其人ノ便利ヲ計ルガ爲ニ屹度其者融通ヲ付ケテヤツテルニ違ヒナカラウガ、大ナル多額ノ金額デ銀行ガソレヲ外ヘ回ス計畫ヲシテ居ルノヲ期限内ニ取りニ來ルノヲ返サナクチャナラヌト云フノデアハ定期預金ノ性質ハ無クナツテ仕舞フ、是ハ段々實業ニ精シイ御方ガアルモノデカラ、サウ云フ御方ガ差支ナイト云フコトナラバ私ドモハ別ニ異論ハアリマセヌ、皆様方ガ是デ宜イト云フコトナラバ、ソレニ從フ積リデアリマス

○藤田四郎君 私モ銀行ノコトハ能ク存ジマセヌガ、定期預金デ金ヲ期限内ニ返サヌト云フコトハ言ハレル通りダラウト思ヒマスガ、實際今日ノ所デハ若シ定期預金ヲ約束スルトキナラバ定期内ト雖モ御渡シスルト云フコトヲ書ク方ニナツテ居ルヤウデアリマス、ソレデナクテハ銀行ノ事業ガ立チマセヌ、若シ書ケバ定期内デモ差上ゲル、但利息ハ云々ト云フコトヲ書イテ居リマス、又定期預金ヲ以テ金ヲ貸スト云フコトモヤツテ居リマセウガ、實際定期預金ヲ返スコトノ嫌ヒナ銀行ナラバ當座モセヌ、貸付モシマセヌデセウカラ、事實上ハ差支ナカラウト思ヒマス、又何カノ便宜上勝手ニ……先取權トカ破産トカ云フトキニ纏レガ起ル、ソレナコトノ爲ニ勝手ヲ言フダラウト思ヒマス、法律上ノコトハ私ハ知リマセヌガ、預金ヲシテ商賣ヲシテ居ル人ハ銀行ニ信用モ得タイ、又他ノ取引先ニ向ッテ信用ヲ墜シタクナイト云フコトガアル、併ナガラソレハ他ノ方ニ持ッテ行ッテ見セルト云フコトニスルニモ、或ハソレヲ預ッテ居ル所ガ先取權ト云フコトデ確實ニナカッタナラバ、随分怖イコトダト思ヒマス、是等ノコトハ法律上ノ形ハドウカ知リマセヌガ、此間破産法デモ拵ヘルトキニ入レルト云フヤウナ御話ガアッタヤウデアリマシタ

○村田保君 サウスルト定期預金ヲスルト云フノバ定期内デモ返スト云フコトニナレバ利息ヲ定メルコトが出來マセヌ

○藤田四郎君 書イテ置ケバ寧ロ其コトヲ書クダラウト思ヒマス

○村田保君 ソレナラ當座預ニナツテ仕舞フ、ソレハ怪シイ、ソレハ貴方ノ御考ヘダラウカラ、私ガ銀行ナラサウハ書カヌ、ソレダケノ約束ダモノ……

○伯爵廣澤金次郎君 岡野サン今ノ所デ確定メテ置キマス、此間御説明ヲ能ク聽カナカッタガ……預金者ガ破産シタ場合ニ、而シテ銀行ガ定期預金者ニ定期預金ヲ擔保ト看做シテ貸付ケタ場合ニ其貸付額ダケハ先取權ガアリマスガ、現在、破産法ノ關係ハ……

○岡野敬次郎君 ソレハ私自分ノ思フ所ト、ソレカラ他ノ諸君ノ御考ヘニナル所ト果シテ一致スルカドウカ存ジマセヌ、私一人ノ考ヘテ申上ケレバ私ハ質權ト見テ差支ナイ、固ヨリ唯定期預金ガ一方ニ有ッテ他ノ一方ニ貸金ガ有ルカラ、ソレデ當然質權ニナルトハ申シマセヌガ、特ニ擔保ニスルト云フ意思ヲ明ニシタ以上ハ私ハ差支ナイト思フ、併ナガラ之ヲ質權ト解スルガ法理上適當デアルカドウカト云フコトハ別問題デ、曾テ富井サンノ意見ヲ私ハ伺ッタコトガアリマスガ、富井サンノ御意見ハ私ノ記憶ニ誤リナクハ説明ノ基本ハ違フヤウデアリマスガ、併ナガラ銀行ニ於テ權利ヲ有ツコトヲ得ルト云フ結論ニ至ッテハ同一ノヤウデアリマス

○伯爵廣澤金次郎君 例ヘバ貸金證書ノ返濟期日ニ於テ返濟出來ザル場合ニハ拙者名義定期預金ヨリ御差引テ異議ナクト云フ文句ガ有ッタ場合ニハ質權ト見テ宜イノデスカ

○岡野敬次郎君 ソレハ解釋問題ニナリマスカラ、問題ノ事實如何ニ依ルノデアリマスガ、唯私ノ思フ所ヲ申シマスレバ差引クト云フコトヲ書イタカラ、ソレデ質權ニナルトハ申シマセヌ、私ノ考ヘハ相殺ト云フ考デナイ、擔保トスルト言ヘバ、既ニ質權ト思ヒマス、併シ富井サンノ御考ヘハ違フヤウデアリマス

○富井政章君 今、廣澤伯ノ御述ベノ差引クトカ云フヤウナ特約ガ無クテモ、唯默ッテ居ッテ、自己ニ對スル質權、定期預金ノ自己ニ對スル債權ヲ擔保ニ取ツタト云フダケデ債權質ハ成立スルト思ヒマス、ソレハ一般ノ說デアラウ、裁判所ノ問題ニナツテモ、マサカソレガ無効デアル、債權質デナイ、或ハ有效デアツテモ、ソレハ相殺ノ豫約ニ過ギナイ、寧ロ債權者ハ勝手ニ差押ガ出來ル、銀行モ唯平等分配ニ與カル權利シカナイ、破産ノ場合ニハソレダケノ權利シカナイ、條除權ハナイト云フ見解ハマサカ取ラナイノデアラウト思ヒマス、ソレデアルカラ私ハマアドチラカト言ヘバ規定シテ置ク必要ハ無カラウト思ヒマスケレドモ、唯或ハ規定ガ有ッタ方が宜イカト思ヒマス理由ハ、質權ノ實行ノ仕方、債權質ノ實行方法ハ民法三百六十七條ニ規定シタルガ如ク、其質入サレタル債權ヲ取立ルト云フコトデアリマス、取立テト云フ言葉ハドウシテモ第三債務者ガ有ッテ、ソレニ對シテ辨濟セヨト云フ言葉デアリマス、自分ニ對スル債權ヲ取立ルト云フコトハドウモ少シ工合ガ惡ルイ、ソレハモウ默ッテ居ッテ差引ケバ是ホド早イ取立テノ仕方ハ無イカラ、ソレデ宜イト云フヤウナ説ヲ吐ク人モアリマスケレドモ、其點ダケハ不安心ダ、斯ウ云フ風ニシテ實行スルノデアルト云フコトデ決定シテ置クナラバ、其點ハ必要デアラウカト考

ヘタノデアリマスケレドモ、優先權ガアルト云フコトが大丈夫デアルトスレバ、自然サウ云フコトニナルダラウ、自然マア帳簿ノ上デ差引クト云フコトヨリ仕方ガ無イダラウ思ヒマス

○伯爵廣澤金次郎君 銀行者ノ心配ハソコノ一點ダラウト思ヒマス

○委員長(男爵波多野敬直君) 此委員會ノ修正ニ付イテ、モウ御質問ゴザイマセヌカ

○桑田熊藏君 採決ヲシテハドウデスカ

○伯爵廣澤金次郎君 採決ニナリマスカ

○委員長(男爵波多野敬直君) ソレハ御相談シヤウト思ヒマスガ、矢張り委員會ハマダ逐條審議ニ際シテ決メテ居ラス、矢張り小委員會ノ御修正ニ御質問ガ無イナラ此改正案ノ逐條カラ決メテ行ク方ガ順序ダラウト思ヒマス

○村田保君 私人願ハクハ諸君ハ御質問モアリマセウガ、願ハクハ段々小委員ノ方デ御研究ニモナッテ居ルシ、ドウゾ全部御諮リヲ願ヒタイ、随分此間カラ私モチットハ見テ居リマスガ、皆サンモ御研究ニナッタコトデアリマスカラ、サウ云フコトニ願ヒタイ

(賛成々々「ト呼フ者アリ」)

○委員長(男爵波多野敬直君) 皆サン御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○國務大臣(子爵岡部長職君) 本案ハ過日來、小委員ニ委託サレテ數回ノ審議ヲ遂ゲラレマシテ、本日、本委員會ヲ開カレマシタコトデアリマス、先刻來逐條ニ就イテ小委員ノ報告モアリマシタ次第デアリマス、政府ニ於キマシテハ小委員ノ審議サレテ報告サレタ修正意見ニ付キマシテハ大體ニ付キマシテ御同意ヲ致シマス譯デアリマス、ドウカ其意味ヲ以テ尙ホ御審議アラムコトヲ……

○委員長(男爵波多野敬直君) ソレデハ此小委員ノ修正案ニ政府モ同意ト云フコトデアリマス

○伯爵廣澤金次郎君 決議ニ付サル、前ニ私ハ一ツ殊ニ述ベテ置キタイ希望ガアリマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(男爵波多野敬直君) 宜シ

○伯爵廣澤金次郎君 私ハ本案ノ特別委員デモアリマスルシ、小委員デアリマスカラ、最早意見ヲ述ブルベキ場合デアリマセヌガ、唯一ツ政府當局者、殊ニ司法官ハ獨立官吏デアリマスルカラ、委員會ノ此場合ニ於キマシテ希望ヲ述ベテ置キタイコトゴザイマスルノハ、二百六十一條以下ノ罰則デアリマス、諸君モ毎日新聞ニ於テ御覽ノ如ク、又各商業會議所、或ハ銀行集會所、手形交換所、アリトアラユル方面ニ於テ此罰則ニ付イテノ批評ハ諸君モ御覽ニナッタラウト考ヘマス、世間ハ此二百六十一條ノ體刑ヲ科スルト云フコトハ……不徳義ナル重役ニ對シテ科スルト云フコトハ、誰モ異議ノ無イコトハ明デアリマスルガ、併ナガラ此二百六十一條ノ適用ト云フコトニ於テ、世間皆心配イタシテ居ルデアリマス、今日茲デ決シマス所ノ修正ニナリマシタ所ガ唯「會社ニ損害ヲ生スヘキコトヲ知リテ」ト云フ一句ガ加ハリマシテモ、此罰則ノ適用ハ、重モニ裁判官ノ判斷ニ任カス所ダラウト思ヒマス、ソレデ世間ガ憂フルノハ、此適用ガ若シ誤ラレテ、不徳義デナクシテ、今日種々ノ會社ニ從事シテ居ル者ガ、裁判官ノ常識ノ無キ爲メトカ或ハ種

種ノ事情ノ爲ニ、萬々一是ガ濫用サレテハ、實ニ我々皆會社ニ從事スルコトガ出來ヌト云フ杞憂ヲ有ッテ居ルデアリマス、且又私ガ一個人トシテ心配イタシマスルノハ此二百六十一條以下ノ罰則ハ不徳義ナル重役ヲ罰スル目的ハ達スルデアリマセウケレドモ、或ル場合ニ於テハ、不徳義ナル會社荒シト云フ者ヲ獎勵スル武器ニナリハセヌカト云フコトヲ心配スルデアリマス、是、世間デモ新聞紙上ニモ往々認メテアリマスガ、今日デモ會社荒シト云フ者ガ總テノ會社ノ總會ニ現ハレテ來ルデアリマスガ、或ハ財産目錄トカ、或ハ貸借對照表トカノ中ノ詰ラナイ誤リデモホデクリ出シマシテ、而シテ其會社ノ重役ヲ脅喝スルト云フコトガアル、ソレデ此二百六十一條ノ罰則ガ、是等ノ會社荒シト申シマスル者ニ利用サレハセヌカト云フコトガ心配ニ堪ヘヌデアリマス、故ニ是ガ利用セラル、ト、セラレナイトハ、實ニ此罰則ヲ將來施行サル、所ノ裁判官ノ賢明ナル常識ニ待ツノデアルト考ヘマス、故ニ私ガ今日希望イタシマスルハ、此商法改正案ガ實行セラル、前ニ當リマシテ、何レ當局大臣ハ各裁判所ノ檢事ナリ判事ナリ召集サレテ、此改正ノ趣旨ヲ訓示サレル時機ガアラウト思ヒマスガ、此改正ノ趣旨ガ各地方ノ判事及檢事ニ普ク傳ハルヤウナ趣意ヲ以テ、此商法ヲ實施サレムコトヲ希望イタシテ置キマス

○委員長(男爵波多野敬直君) ソレデハ全部ニ付イテ決ヲ採リマス、先ヅ修正案ニ付イテ決ヲ採リマス、委員ノ修正ニ御賛成ノ方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

總員 舉手

○委員長(男爵波多野敬直君) 全會一致ト認メマス、續イテ原案ニ付イテ決ヲ採リマス

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○委員長(男爵波多野敬直君) ソレデハ商法ハ全部修正可決トナリマシタ、次ニ商法施行法中改正法律案、是モ全部問題ニ供シマス

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○委員長(男爵波多野敬直君) デハ御異議ハ無イト認メマス、ソレカラ非訟事件手續法中改正法律案

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○委員長(男爵波多野敬直君) ソレデハ是モ全部可決、不動産登記法中改正法律案

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○委員長(男爵波多野敬直君) ソレデハ四案トモ可決イタシマシタ、是デ閉會イタシマス

午後三時三十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵波多野敬直君

委員

伯爵廣澤金次郎君 子爵加納 久宜君 村田 保君
男爵久保田 讓君 男爵武井 守正君 男爵目賀田種太郎君

藤田 四郎君 富井 政章君 石渡 敏一君
穗積 八束君 菊池 武夫君 高木 豐三君
岡野敬次郎君 桑田 熊藏君

國務大臣
司法大臣 子爵岡部 長職君
政府委員

司法次官 河村讓三郎君 司法省民刑局長 平沼騏一郎君
司法省參事官 齋藤十一郎君 司法省參事官 山内確三郎君